

インフルエンザ週報 2015年 第5週 (1月26日～2月1日)

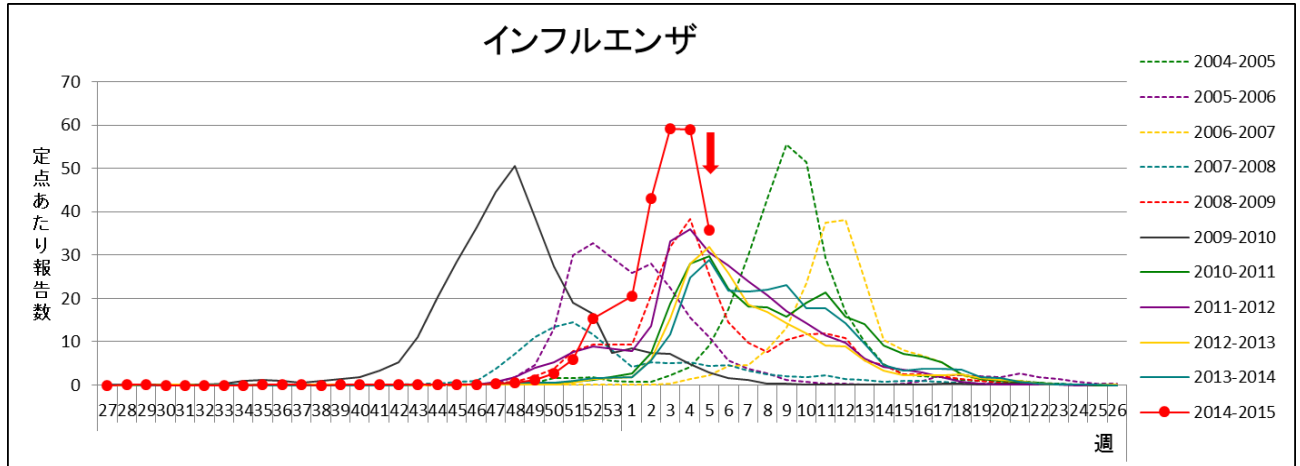
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で2998名(定点あたり58.98 → 35.69人)の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が160施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者16名の報告がありました。

【第6週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が69施設でありました(2月2日～4日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で2998名(定点あたり58.98 → 35.69人)の報告があり、前週より減少しました(84定点医療機関報告)。岡山県は、『インフルエンザ警報』発令中であり、広く注意を呼びかけています。第47週以降、患者増加が続いていましたが、11週ぶりの減少となりました。報告数は減少したものの、いまだ警報レベルを超えており過去10年間の同時期と比較してもっとも多い状態です。

地域別では、倉敷市(50.44人)、備中地域(38.67人)、備北地域・真庭地域(35.67人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。ほとんどの地域で患者の減少がみられましたが、依然として多くの患者が報告されており、県内全域で大きな流行が継続しています。

学校等の臨時休業は第5週には160施設から報告がありました。前週(271施設)より減少したものの、多数の施設から臨時休業が報告されており、今後も幼稚園・小学校・中学校などで集団生活をしている年齢層での感染拡大が懸念されます。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、さらなる感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは流行期に入っています。 さらなる感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな?という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2998	↓	備 中	患者数	464	↓
	定点あたり	35.69			定点あたり	38.67	
岡山市	患者数	770	↓	備 北	患者数	214	→
	定点あたり	35.00			定点あたり	35.67	
倉敷市	患者数	807	↓	真 庭	患者数	107	↓
	定点あたり	50.44			定点あたり	35.67	
備 前	患者数	384	↓	美 作	患者数	252	↓
	定点あたり	25.60			定点あたり	25.20	

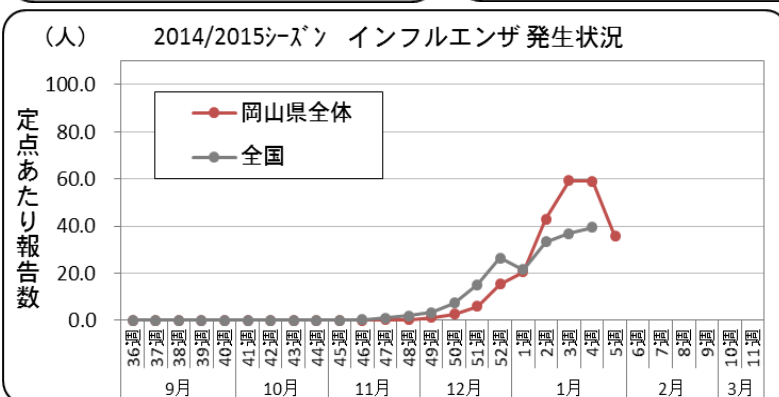
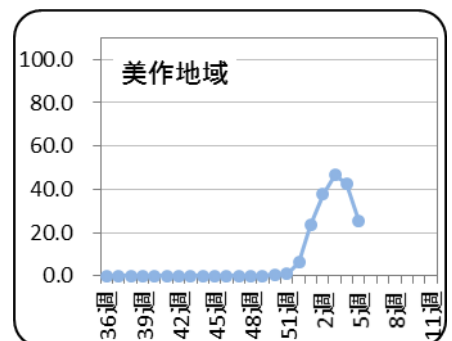
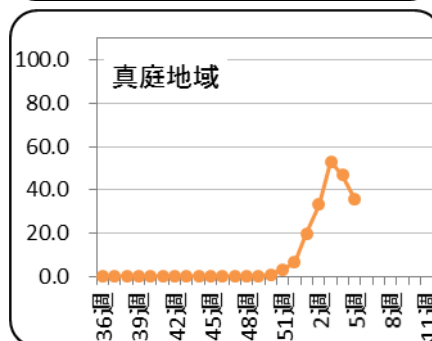
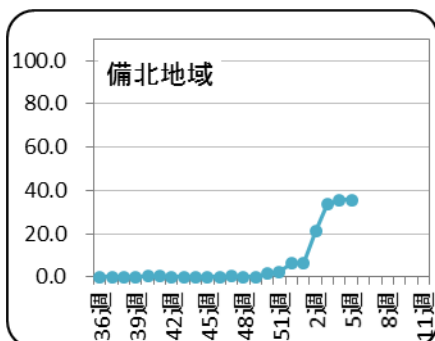
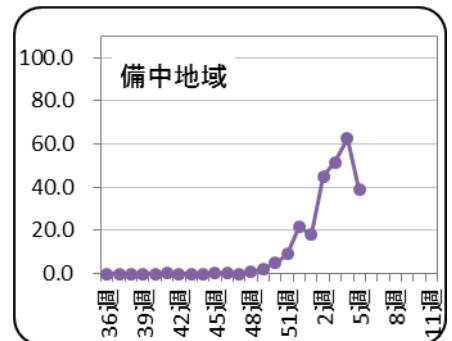
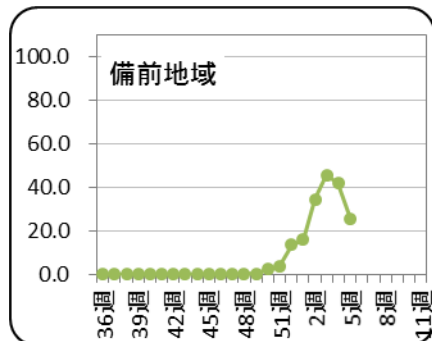
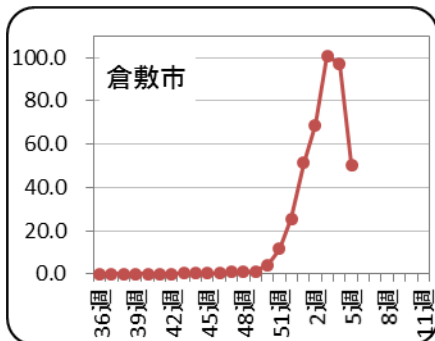
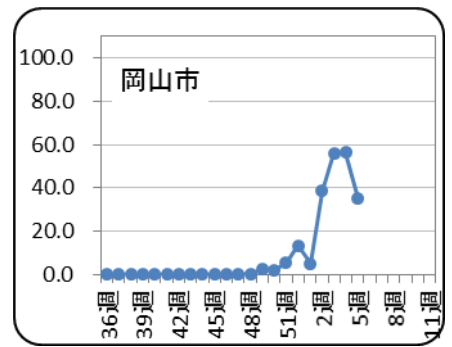
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↓ 1.1未満の増減 →
 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

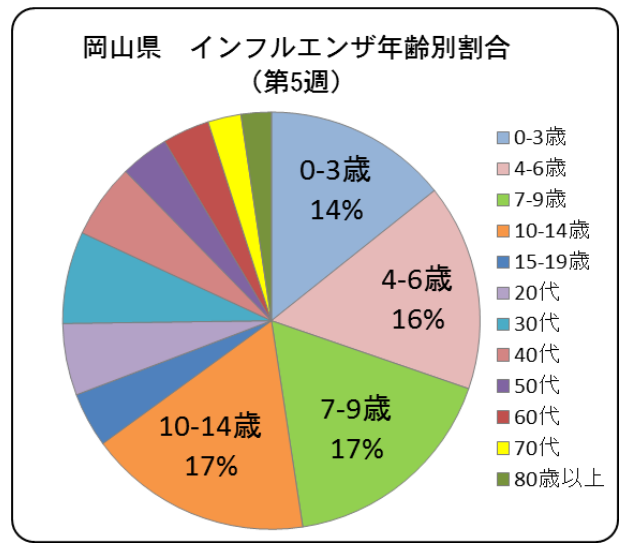
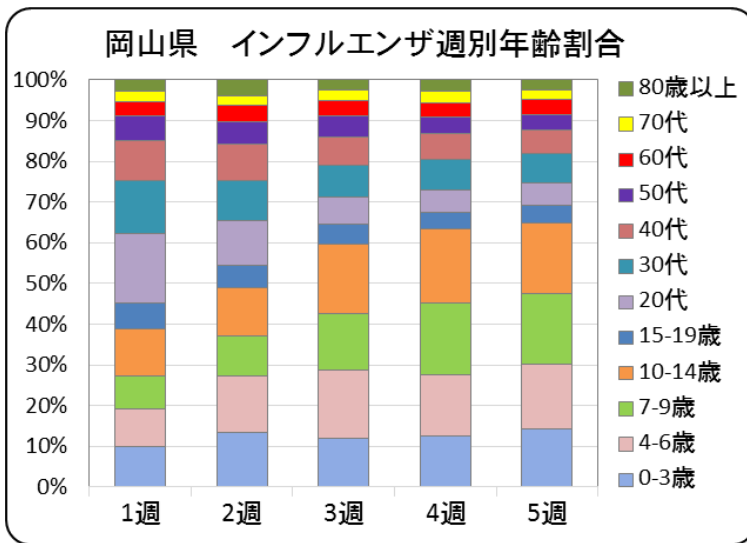
レベル3		レベル2	
開始基準値	終息基準値	基準値	
30	10	10以上 30未満	
レベル1		報告なし	
基準値		基準値	
0 < 10未満		0	



全国集計第4週（1/19～1/25）速報値によると、全国の定点あたり報告数は39.42人であり、前週（37.00人）よりも増加しました。都道府県別では、宮崎県（86.05人）、鹿児島県（78.59人）、山口県（75.12人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、31都道府県で前週の報告数よりも増加しました。

2. 年齢別発生状況

第5週の年齢別割合は、10-14歳及び7-9歳17%、4-6歳16%の順で報告数が多くなっており、中学生以下の年齢層が半数以上を占めています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第5週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはAH3型が6株でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が38株（100%）となっています。

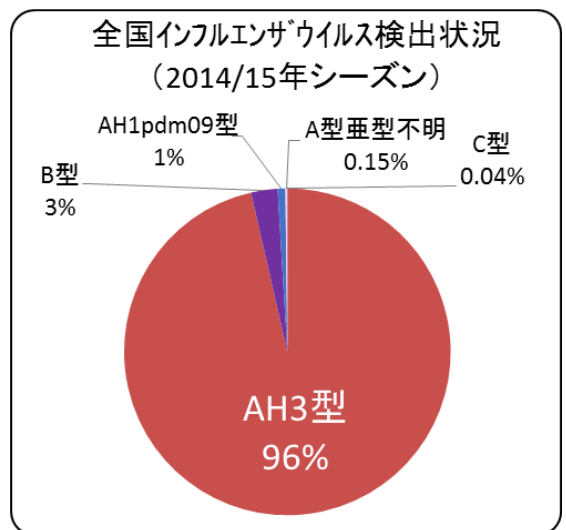
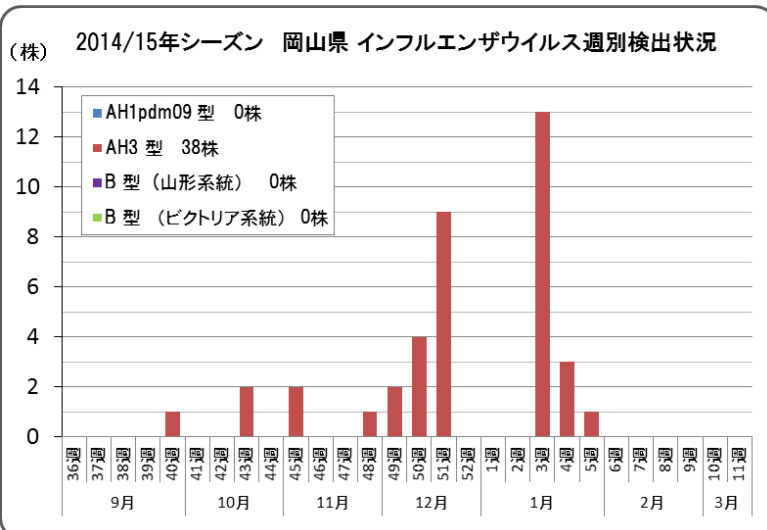
・[\(岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況\)](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も多く96%、次いでB型が3%、AH1pdm09型が1%の順に検出されています。(2015年2月5日現在)

・[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

【第5週 判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第5週(1/26~2/1)	2015/1/26	岡山市	40代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/15	岡山市	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	小学生	女
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	小学生	女
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	中学生	女

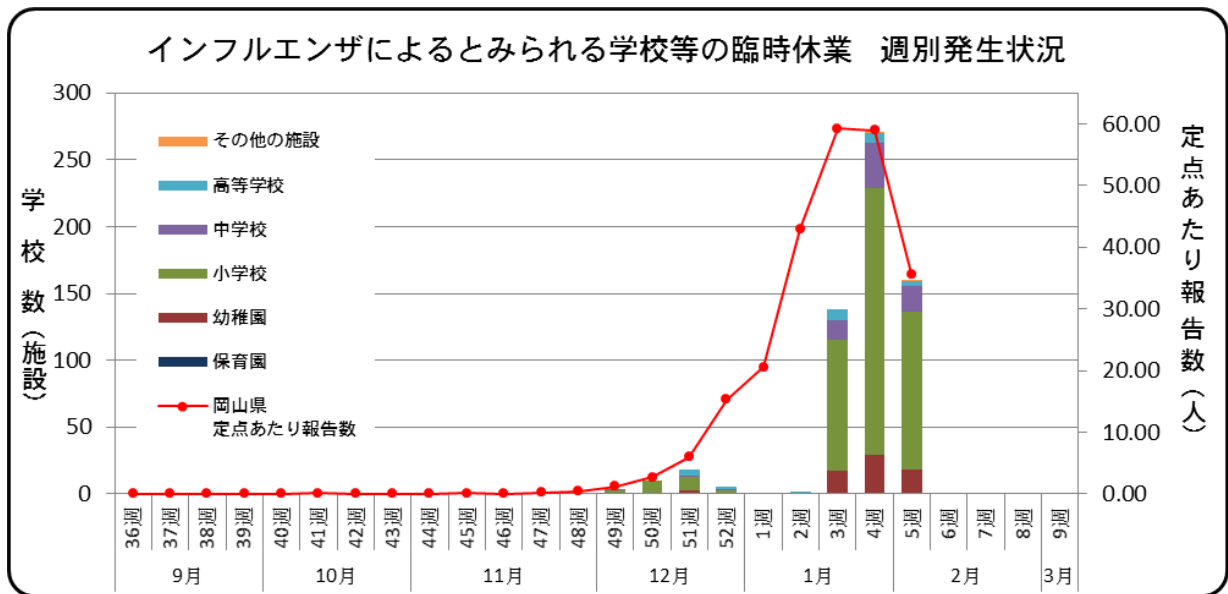


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 160 施設でありました。

【第5週 臨時休業施設数】

▽岡山市 61 ▽倉敷市 35 ▽津山市 16 ▽総社市 12 ▽真庭市 5 ▽備前市 4 ▽高梁市 3
 ▽美作市 3 ▽美咲町 3 ▽玉野市 2 ▽笠岡市 2 ▽井原市 2 ▽瀬戸内市 2 ▽浅口市 2
 ▽早島町 2 ▽矢掛町 2 ▽赤磐市 1 ▽里庄町 1 ▽鏡野町 1 ▽奈義町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2606	9889	1994	7757	160	609	3	14	35	148	122	447	H26.10.21
岡山市	1031	4145	777	3144	61	236	0	2	7	31	54	203	H26.12.1
倉敷市	560	2236	436	1844	35	130	1	3	3	21	31	106	H26.10.21
備前地域	124	583	87	497	9	45	—	—	2	17	7	28	H26.12.9
備中地域	319	1346	238	1079	23	101	1	5	7	37	15	59	H26.12.8
備北地域	153	247	70	121	3	6	1	1	1	3	1	2	H27.1.16
真庭地域	49	153	40	132	5	17	0	1	3	9	2	7	H26.12.16
美作地域	370	1179	296	940	24	74	0	2	12	30	12	42	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第5週：160施設

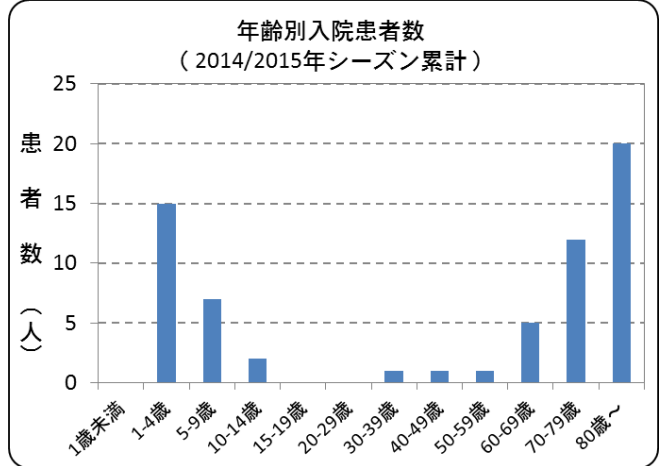
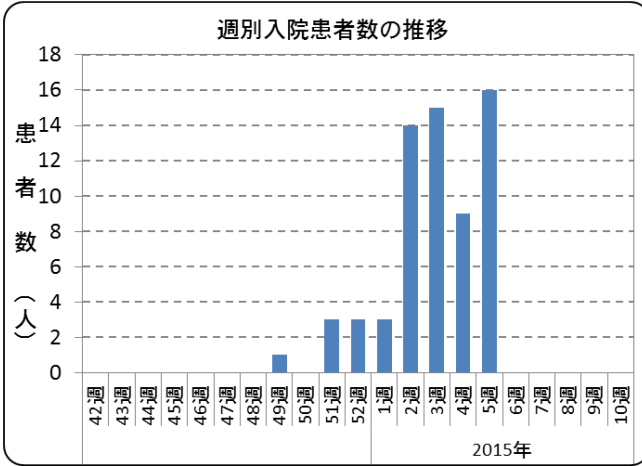
累計：609施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	18	67	118	444	20	72	3	24	1	2

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、16名（1-4歳 4名、40-49歳 1名、60-69歳 2名、70-79歳 5名、80歳以上 4名）の報告がありました。入院患者の多くは、4歳以下の幼児と70歳以上の高齢者となっています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 5 週 入院患者報告数】

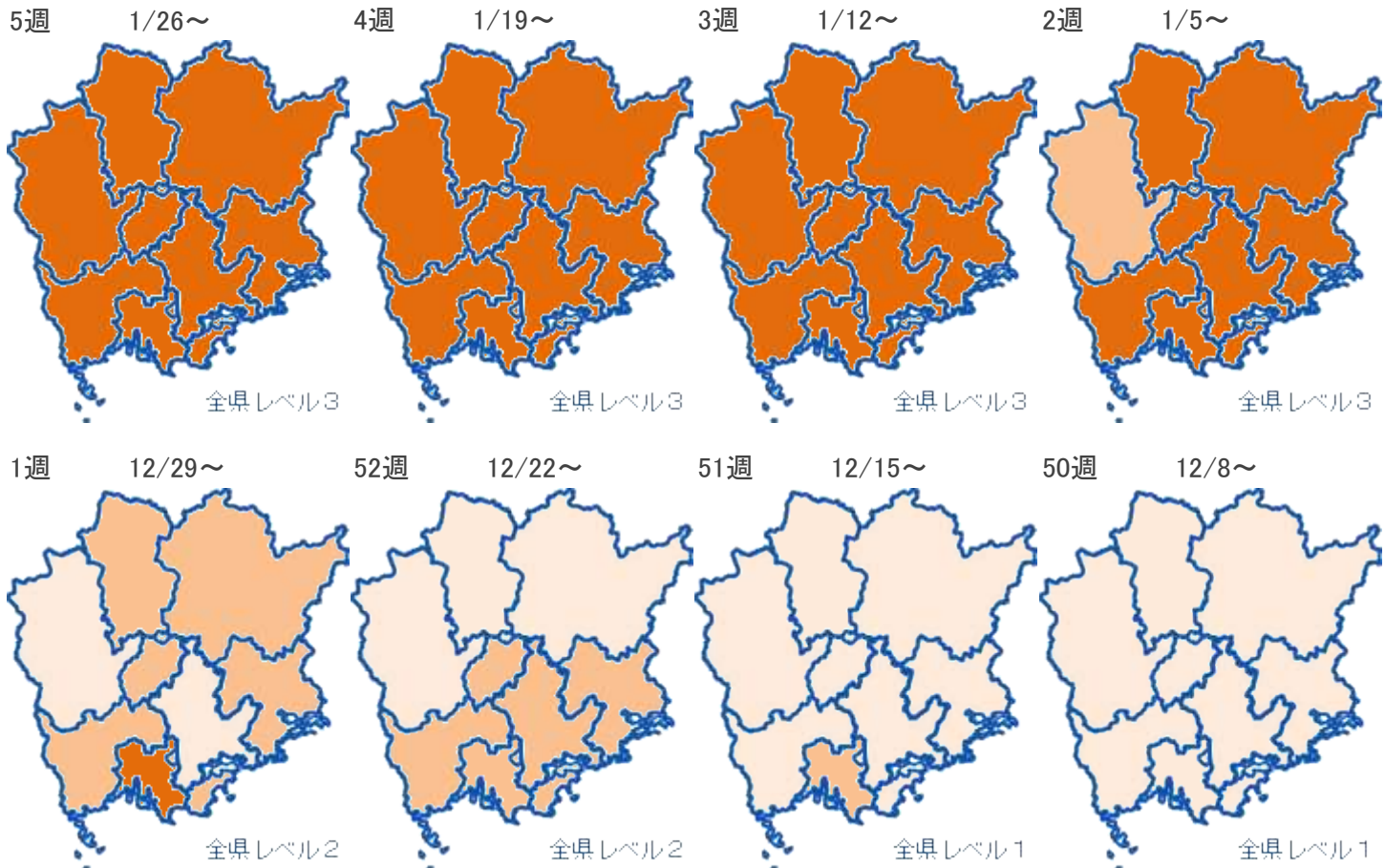
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数		4						1		2	5	4	16
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		2								1		1	4
頭部 MRI 検査 (予定含)													
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず		2						1		1	5	3	12

* 重複あり

【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数		15	7	2			1	1	1	5	12	20	64
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		5								2	3	3	13
頭部 MRI 検査 (予定含)		1		1							2		4
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず		10	7	1			1	1	1	3	7	17	48

* 重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。